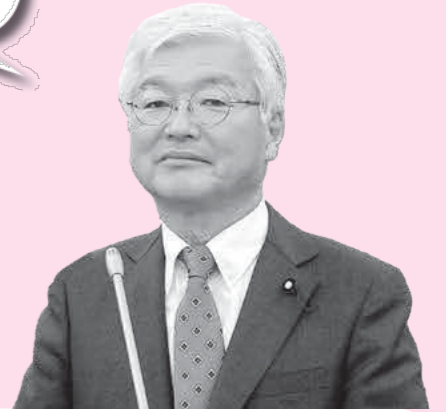


# 「たまりん」を 買物・通院専用



松本幸喜



町長

公共交通としての  
利便性を向上

**質問** 高齢者の「買い物難民化」に対する対応と今後の対策についてどのように考えているか。

**答弁** 町長 町で運行している乗合タクシー「たまりん」は、利用頻度の高い場所へのアクセスを考慮した路線設定をしている。また、現在、「たまりん」とは別に移動販売車両の導入も進めている。

**質問** 「たまりん」の現在の利用者の多くは買い物・通院目的の高齢者であるが、どのような方の利用を想定して運行しているか。利用者ニーズに合わせ、買い物等に特化した運行形態を導入する考えはあるか。

**答弁** 町長 全ての町民の利便性を高めていけるよう検討していきたいと考えている。

**答弁** 環境安全課長 現在は公共交通機関というところで、様々な方の利便性確保の

ため、対象を絞った形での運行はしていない。

**質問** 「たまりん」のダイヤ改正や路線変更はどのように行われているか。

**答弁** 町長 ダイヤ改正や路線変更については、学識経験者、タクシー事業者、バス事業者、道路管理者、警察、区長代表、長寿会代表等で構成される「玉村町地域公共交通会議」で路線変更計画の承認を得る必要がある。その後、関東運



使いやすい公共交通とは…

輸局群馬運輸支局へ事業計画変更認可申請書を提出し、審査・許可されたのち、住民へ周知し、運行開始となる。

**質問** 今後10年を見据えた公共交通機関の在り方について、見直す考えはあるか。

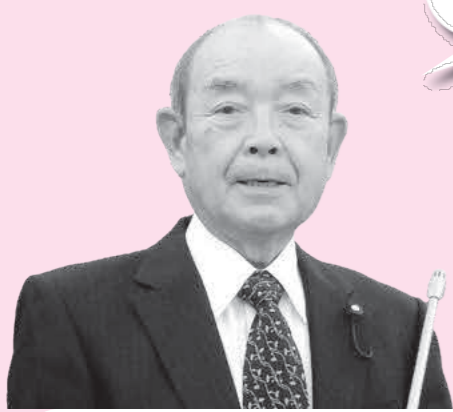
**答弁** 町長 自動運転技術の高度化による無人運転バスの導入など、時代の変化に対応した見直しが必要であると考えている。

## 空家対策の進捗状況は

**質問** 玉村町空家等対策計画の進捗状況は。

**答弁** 町長 「玉村町空き家バンク」では令和3年4月に1件の売買契約が成立し、町外からの転入があった。「玉村町空家除却補助」事業については、過去2年で14件の老朽家屋の除却作業が完了し、今年度についても10件が除却される予定になっている。

# 指定管理者制度 導入施設の検証は



新井賢次



町長

年次ごと、事業報告書  
により評価

**質問** 各施設における導入目的（運営コストの削減、住民サービスの向上等）の達成度を、どのように把握し、どう評価しているのか。

**答弁** 町長 指定管理者制度は民間の能力を活用し、住民サービスの向上と経費削減を図ることを目的としている。現在、町有11施設を指定している。指定管理者からの日常の業務状況報告や月次報告、毎年度終了時に提出される事業報告書（管理運営業務の実施状況、利用実績、収支状況、利用状況分析報告書等が記載）により、把握、評価をしている。

町と民間業者との公契約であり、お互いに関係を意識して、指定管理者制度を深めていくことが必要だ。

**答弁** 総務課長 導入当初から職員数は削減している。現在は直営金額との比較ではなく、設計金額と比較をして進めている。

**質問** 社会体育館を新たな導入施設として検討したかどうか。

**答弁** 教育長 現在、長寿命化改修工事のため休館しており、4月に開館予定である。4月以降の業務内容や管理経費、導入している他市町村の状況など、あらゆる角度から精査し、導入に向けた研究を進めたい。

## 歴史的な文化遺産の有効活用を

**質問** 7月、正式に重田家住宅が町に寄贈された。歴史的な文化遺産が失われつつあるなか、際立つ朗報である。今こそ、従来の担当だけでなく、枠を広げて体制を組み、継続して有効活用する方策を立てることが重要だと思いが、どうか。

**答弁** 教育長 国登録有形文化財重田家住宅は町にとって貴重な歴史的建造物であ



有効活用が期待される重田家住宅

り、今後の保存及び有効活用によってさらなる価値が高まるものと考えている。教育委員会だけでなく、他課や関係機関、関係団体等との連携が大切だと考えている。したがって、様々な意見を出し合いながら連携をしていくための歴史遺産保存活用検討委員会（仮称、歴史浪漫たまむら委員会）の設置について、現在準備を進めている。

こんな質問もしています

交通安全施設設置事業について